

9/20 スペースバルーンに希望を乗せて えひめ南予共同気球実験で愛南町から高度30kmの世界に



愛媛
CATV
動画



▲プロジェクトが無事に成功することを願い準備を進める学生。(右下写真:成層圏での漆作品の様子)

青空が広がった9月20日(水)、九州大学・早稲田大学・名古屋大学・埼玉大学・東京理科大学などの学生が参加し、南レク城辺球場から2つのスペースバルーンが放たれました。

スペースバルーンは宇宙の入り口である成層圏高度30kmまで浮揚し、打ち上げから約2時間後に土佐湾へ着水します。通信用機器だけでなく、今回は漆で作られた芸術作品も成層圏へ旅立ちました。その名も『空漆プロジェクト』。宇宙の世界に魅了された学生の提案によって工学と芸術という異分野の融合が実現しました。今回の打ち上げで、磨き上げた美しい漆作品が地球の青い光に照らされる幻想的な映像を撮影することができ、見事プロジェクト成功を収めました。

9/27 ICTを活用し災害時の被害を最小限に 『ため池遠隔監視システム実証実験に関わる協定』を締結



愛媛
CATV
動画



▲協定書を手にする清水町長と後藤健治松山支店長



ため池
監視
システム

町と大和リース株式会社による「ため池遠隔監視システム実証実験に関わる協定」の締結式が行われました。

大和リース株式会社は、ICTを活用したため池管理システムを実証実験として全国各地に無償で設置し、ため池の管理・監視体制の強化を図り、防災・減災対策を推進する取り組みをしています。今回の協定締結により、上大道池にカメラと水位計が設置され、ため池の変化を即座に把握して適切な対策を取ることが可能となります。また、一定の水位まで上昇すると管理者に向けてアラームで通知する仕組みになっており、地元の住民や関係機関に早期報告が可能となり、避難準備を進める時間の確保など、災害時の被害を最小限に抑えるために有効なツールであると期待されます。

9/28 自分たちの地域を災害から守るため 柏小学校が防災学習意見交換会を実施



愛媛
CATV
動画



▲見学の感想や防災対策の重要性について立派に発表を行った柏小学校児童

令和5年度の愛南町防災教育研究指定校に選ばれている柏小学校では、防災マップ作りを通して、地域の防災・減災につながる防災学習に取り組んでおり、9月28日(木)には、高速道路・新内海トンネルの建設現場見学を終えた児童たちが見学で学んだことをもとに意見交換会を行いました。

3~6年生の児童26人は、見学して分かったことに加え、仕事に関わる「ひと」「もの」「こと」の資源を、柏地区の防災・減災対策につなげることができないかとの視点から、意見や提案の発表を行いました。発表を終えた児童たちは、大洲河川国道事務所や町防災対策課から感想や助言を受けました。

発表と意見交換を通じて、防災学習の重要性を再確認し今後につながる多くの学びを得ることができた様子でした。

9/
30

愛南の美しい海を未来に残すために 南宇和ライオンズクラブが清掃活動を実施



愛媛
CATV
動画



▲強い日差しにも負けず、集中してごみを拾い集める参加者たち

夏のように汗ばむ天気となった9月30日(土)、南宇和ライオンズクラブが主催する清掃活動が行われました。この活動は、「ライオンズ奉仕デー」の一環として行われるボランティア活動です。当日は、南宇和高校や御荘中学校の生徒、そのほかにも海上保安部や警察署、愛南漁協、役場、銀行など、さまざまな企業・団体から90人を超える参加者が集まりました。

清掃活動は片の浜(御荘)周辺の浜辺で5グループに分けて行われ、集まった参加者は流れ着いたゴミや流木を丁寧に拾い集めていました。集まったゴミの運搬には滝野産業や各建設会社も協力し、皆で一丸となって美しい海を守るために清掃活動に取り組みました。

10/
1

毎年恒例!愛媛の海山交流 久万高原の魅力発信フェアを開催



愛媛
CATV
動画



▲青果から加工品までさまざまな商品が販売されて賑いを見せた販売ブース

今年で4回目の開催となる「久万高原の魅力発信フェア」が道の駅みしょうMICで開催され、久万高原町役場や観光協会、道の駅天空の郷さんさんの職員などが来訪客と交流しながら特産品を販売しました。

毎年好評の久万高原清流米やブドウをはじめとする農作物や加工品など数多くの特産品が並べられ、訪れたお客さんに対して職員が生産者の思いを込めて商品説明を行いました。年に1回開催されるこのフェアを楽しみにしているお客さんも多く、午前10時の販売開始早々大きな賑わいを見せました。千円以上の買い物をした人には特典として新米のすくいどりが用意されるなど、今年も充実した地域間交流の場となりました。

10/
4

自然の恵みに感謝して食べ物大切さを学ぶ 緑小学校・船越小学校合同による待望の稲刈り!



愛媛
CATV
動画



▲交流を深めながら協力して作業を進め全て刈り終えた児童たちの表情は達成感に満ちていました

絶好の収穫日和の中、緑小学校と船越小学校の児童たちが力を合わせて楽しく稲刈りを行いました。

お米栽培の指導をしてくれている孝野寛也^{かくや}さんから、鎌の使い方についてレクチャーを受けた児童たちは一斉に手刈りをスタート。5月末に田植えをしたヒノヒかりは立派に育ち、一株ずつ丁寧に力を込めて刈り進めました。手刈りした稲をコンバインで脱穀するため、児童や教職員、保護者など地域の方々が協力して稲を運び脱穀作業を進めました。

稲刈りを終えた児童たちからは、「去年よりもスムーズに稲を刈ることができたので、来年はもっと早く刈れるようになりたい」、「船越小学校の友達や地域の方たちと一緒に稲刈りができて嬉しかった」などたくさんの感想がありました。

地域の医療について考える 第12回愛南町の医療にふれる会が開催されました



愛媛
CATV
動画

8月29日(火)、御荘文化センターで第12回愛南町の医療にふれる会が開催されました。当日は、愛媛大学や順天堂大学など県内外の医療従事者をめざす学生や大学関係者、県立南宇和病院や国保一本松病院、正光会御荘診療所など町内医療機関の医師や看護師、あいなん小児医療を守る会、消防本部などの関係団体職員が多数出席し、総勢88人の参加となりました。

会では、順天堂大学医学部の谷川武^{たけし}教授から愛南町の医療にふれる会発足の経緯が説明された後、県立南宇和病院や御荘診療所、あいなん小児医療を守る会、愛媛大学附属病院などの医師や関係者から地域医療の現状に関する講演が行われました。また、町で地域医療実習に参加した順天堂大学の学生や町の産科医療の現状について研究した愛媛大学の学生からも成果発表が行われ、医師や大学関係者による活発な意見交換が行われました。

参加者は、発表や意見交換を通して、町の地域医療の現状やこれから向き合うべき課題について理解を深めていました。



ドライバーに向けて安全運転を呼びかけ 町内各地で令和5年秋の交通安全運動が行われました



愛媛
CATV
動画

9月21日(木)~30日(土)にかけて、秋の全国交通安全運動が開催され、各種活動が実施されました。

運動期間の初日になる21日(木)には、八幡神社で南宇和交通安全協会、愛南町交通安全推進協議会、愛南安全運転管理者等協議会、愛南警察署の4団体の主催による「交通安全祈願祭」が執り行われました。祈願祭では愛南警察署の岩垣雅也^{まさや}署長が、「日没時間が早まるこの時期、夕暮れ時の事故が増加する傾向にあります。道路を横断する際は大人も手を上げ、交通安全機運をさらに高めていただきたい」と参加者に向けて呼び掛けました。

このほかにも、南宇和交通安全協会員やセーフティリーダーも参加した啓発活動が町内各地で開催され、ドライバーに向けた啓発グッズの配布や安全運転の呼びかけが行われました。

【運動期間中に行われた活動】

- ▶9月25日(月)
南レク御荘公園前国道で交通安全茶屋(南宇和高校生も参加)
- ▶9月26日(火)
南宇和交通安全協会・高知県交通安全協会宿毛市部の県境合同交通安全茶屋
- ▶9月29日(金)
西海地域でシートベルト着用の啓発運動

